

サロン あがたの森

市民文化講座「サロンあがたの森」が2022年11月26日、200回を迎えました。

旧制松高同窓会が2003年にスタートさせて20年。サロンを立ち上げ140回を開催した松高OBの皆さんのご努力に敬意を表し、各回のサロンに足を運び親しみご支援くださった地域の多くの方々に、改めて感謝申し上げます。

サロンあがたの森の精神は、毎回話をしていただく方の呼び方「話題提供者」に表れています。「講師」(先生・話す側)と「生徒」(聴く側)の立場は、一般的に上下関係(縦型)です。これに対し、「話題提供者」の場合は、「提供者」と「参加者」が、その話題について共に考えようというフラットな(横型の)関係を表します。

実態がどうかの課題はありますが、松高OBの方々が持ち続けたこの精神を、2016年からサロンを受け継いだ私たち実行委員会も、大切にしていこうと考えています。

あがたの森は、松高から信大へと変わりながら、松本の「学」を象徴する柱の一つでありました。信大が旭町キャンパスへ全面的に移った後は、校舎の保存運動が実り、あがたの森文化会館(重要文化財)として残された今日、市民に開かれた「学びの場」として活用されています。

私たちは、かつての松高生の「パトス(情熱)」を受け継ぎながら、あがたの森の「学びの息づかい」を大切に、多くの人たちが新たな「知」を吸収し学び楽しむ機会にしていこうと、活動を続ける所存です。

☆ 日 時 毎月 **第2土曜日** を基本に 午後1:30～

☆ 会 場 **あがたの森文化会館**

☆ 内 容 テーマに沿って話題提供者の話のあと気楽に懇談
話題提供者には松本のながれをくむ信大の関係者をはじめ
多彩な人選と内容

☆ 参加費 200円 (お茶・資料代として)

回数	日時	内 容	話題提供者
201	1月 14日(土)	社会変化に適応するミカタの変革	林 靖人 (信州大学副学長)
202	2月 18日(土)	身近な自然にも潜む 生き物たちの不思議で多様な世界	東城 幸治 (信州大学副学長/ 同附属図書館長)
203	3月 11日(土)	松本平の治安維持法と松高事件	手塚 英男 (初代あがたの森文化会館館長)

松本平でのコロナ感染状況により、延期となることもあります